

地域における防災・減災力の向上を目指して



大分県の南西部に位置する竹田市は、北にくじゅう連山を背し、南に阿蘇外輪山、祖母山を望み、市街地中心に位置する盆地は、近世以降岡藩の城下町として整備され、奥豊後の政治・経済・文化の拠点として栄え、田能村竹田や瀧廉太郎などの文人・先哲を数多く輩出しています。

現在の人口は2万3千人余り、市街地は今なお城下町の風情を残していますが、道路は狭く、また急峻な丘陵に囲まれています。その地質は市域の大部分にみられる火山灰土で、過去竹田市を襲った度重なる豪雨災害では、火山地域の地質要因による表面滑落型崩壊が見られる等、市内には危険急傾斜地が数多く存在しています。

本シンポジウムでは、竹田市の過去の水害を検証するとともに、地震災害、風水害、土砂災害などを最小限に抑えるために地域にあった防災・減災力を向上させる方法は何か、そのために何が必要かを、専門家の意見を交えて多面的に討論します。



7.12「竹田市防災の日」シンポジウム

竹田市は、2012年7月12日に発生した「竹田市豪雨災害」を忘れることなく、広く防災対策についての理解と関心を深めることを目的として、毎年7月12日を「竹田市防災の日」と定めています。

大分の防災を 考える in 竹田



日時
2015 **7.12(日)** 13:00 ~ 15:30

場所 竹田市総合社会福祉センター(市役所隣)

13:00 ~ 開会・あいさつ

13:10 ~ 特別講演

演題 「まさかにも備える～竹田の大雨・地震」

講師/気象予報士・大分県防災アドバイザー 花宮 廣務

14:00 ~ パネルディスカッション

「地域における防災・減災力の向上を目指して」

コーディネーター 大分大学 工学部 教授 井上 正文

パネリスト 大分工業高等専門学校 都市・環境工学科 准教授 工藤 宗治

日本文理大学 工学部建築学科 助教 高見 大介

大分大学 教育福祉科学部 准教授 小山 拓志

定員
200名
全席自由席
無料

2015
Disaster Prevention
Symposium in Taketa

お問合せ・参加申込み/大分大学社会連携推進課 TEL.097-554-8533 竹田市総務課 TEL.0974-63-4800

主催/国立大学法人大分大学・竹田市

共催/大分高等教育協議会(地域連携研究コンソーシアム大分)

後援/大分県・大分合同新聞社

